

事業名

江戸東京野菜コンシェルジュ育成事業

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<p>コンシェルジュ育成目標数は第1期2名、第2期4名であったが、予想外に講座への関心が高く、募集の時点から定員数を大幅に超える問い合わせがあった。結果、第1期受講者数36名中修了者29名、第2期受講者数33名中修了者27名と目標を大幅に上回り、5年間を目標にしていたコンシェルジュ数50名も1年間で達成することとなった。(詳細は報告書13～21頁参照)</p> <p>また、コンシェルジュ派遣先、人数も延べ16ヶ所17名、活動派遣への参加者数は述べ964人となり、こちらも当初の目標であった5ヶ所を大幅に上回っている。(詳細は報告書22～36頁参照)</p>	5
2	市民性	<p>市報や協議会ブログ、チラシ、ポスター等で、周知宣伝を行った結果、小金井市民からの応募は全応募者数112名中35名であった。その内、実際に受講した人数は12名(多数応募の為抽選とした)であったが、江戸東京野菜や江戸東京野菜の取り組みに対する関心度は高く、地域資源に対する気づきや食料自給率、環境、食生活や食文化、都市農業など多数の問題意識を持ち、地域に貢献する内容と評価された。</p> <p>また、平成25年度開催予定の講座への応募は平成25年3月31日現在、申込者数21名中市民は4名となっている。</p>	4
3	波及効果	<p>東京の伝統野菜である「江戸東京野菜」についての知識を学び、普及活動に積極的にたずさわる人材育成の為の講座のしくみ作りを行った。また、講座受講者のネットワーク作り、ニーズに合わせた江戸東京野菜コンシェルジュ育成講座受講者の派遣活動の橋渡しも徐々に行われている。すでに幼稚園、学校関係、一般向けに江戸東京野菜の普及活動を行っている。</p> <p>このことは地域資源(人材、もの)を活用し、地域を活性化させる事業にあてはめることが可能である。この仕組みを利用することにより、異業種間の交流やネットワークづくりに大いに役立つと考える。</p>	3

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

4	継続性	<p>本年度は専門性の高い講座のみであったが、応募者、受講者からの要望も多かったため、来年度以降においては本年度に実施した講座に加えて、入門講座も実施することにした。すでに第1回、第2回の日程も決定し、第1回については受付を開始している。</p> <p>協議会については、本年度実施の講座修了者の中から多数の協議会参加希望もあり、構成員体制を団体のみから個人も加えるなどして参加枠を拡大し、多くの人々と協働して運営していく形を取ることにした。</p> <p>資金については、当面講座の受講料でまかない、企業との連携も視野に資金調達を考えている。</p>	4
5	マルチステークホルダー・プロセス	<p>本事業は、特定非営利活動法人ミュゼダグリ、小金井市、東京むさし農業協同組合、いがねこ、江戸東京・伝統野菜研究会が協働して行った。(詳細は報告書2～3頁参照)</p> <p>広告・宣伝については協議会ブログと共に、特定非営利活動法人ミュゼダグリのホームページ、市報、江戸東京・伝統野菜研究会のネットワーク等を活用。講座の会場は小金井市と東京むさし農業協同組合の施設を利用し、協議会のロゴや看板についてはいがねこが行った。(詳細は報告書10～12頁参照)</p> <p>また、講座開催日には参加団体のメンバーが事務局と共に司会や受付等、講座補助を行った。江戸東京野菜関連の活動や業務実績のある団体の為、講師選定や江戸東京野菜の教材確保がスムーズであった。</p>	4

合計点

20

ランク

A